

産業学園広報

発行 北海道櫻井産業学園
 編集 法人本部企画部
 〒061-1196北海道北広島市中の沢
 TEL(011)372-3111
 道都大学 ホームページアドレス <http://www.dohto.ac.jp/>

— <札幌キャンパス> —

道都大学(美術学部)
 道都大学(経営学部)

— <紋別キャンパス> —

道都大学(社会福祉学部)

「百折不撓の精神」をもって限りなき前進を

～今日の道都大学から大学院開設をめざして～

副理事長・道都大学長 櫻井 政経



いま、大学は、かつてない激動の時代を迎えているといっても過言ではありません。

受験人口のもとななる十八歳人口が減少し、近い将来「大学全入時代」が到来するという予測、また、これと関連する定員割れを生じた大学の増加、時代のニーズにあったあたらしい名称の学部の開設、国立大学の独立行政法人化、国際競争にたえうる三十の重点大学構想(いわゆる「遠山プラン」)、国立大学の再編・統合等々、全国の国・公・私立を問わず、大学をとりまく環境が激変していることは周知のとおりです。

おそらく、後世のひとたちは、今日のこの大学をとりまく状況の地殻変動ともいえる激動の時代を「大学改革の時代」、いや「大学革命の時代」とでも名づけるのではないのでしょうか。それはともかく、今日の大学

はまぎれもなくこのような大変動の渦中にあるわけですが、本学もこのような状況をただ黙視しているのではなく、この困難をのりこえるべく、さまざまな工夫や努力をつみかさねてまいりました。

ここで本学園発展の跡をふりかえり、将来展望のワンステップにしたいと思います。本学園の出発点は、昭和三十九年十二月十五日、学校法人北海道産業学園(現北海道櫻井産業学園)の設置認可にさかのぼります。そして、同時に設置校として北海道産業専門学校(のちの道都国際観光専門学校)が認可され、ここにその後の本学発展の礎が定められました。この学校法人と専門学校の認可に際しては、現理事長・総長の櫻井淳先生を中心とした高等教育への熱い思いをいただいた数名の有志の「寢食を忘れた努力が結実」したものであったことを書きとどめておきたいと思えます。

その後、昭和四十一年四月、北海道産業短期大学(その後道都短期大学、道都大学短期大学部へ校名変更)の開学、さらに櫻井淳先生をはじめ、学園関係者の永年の夢であった四年制大学の道都大学を昭和五十三年四月、オホーツクの紋別市に開学するにいたりました。建学の精

神である「百折不撓の精神」を文字通り地でゆくたゆまざる不屈の精神をもって、前進に前進をかさね、今日の道都大学があるといえます。

しかし、その後の情勢は大きく変化し、受験生の高学歴志向、女子の短大志向から四大志向への変化、国際化・情報化の進展、少子化等の時代の変化の波が、大学にも押しよせてきました。

本学はこのような時代の変化に適応すべく、平成十三年三月、専門学校の廃止、さらに、短大部の経営科を四年制大学への改組転換、建設科の美術学部への定員ふりかえ等の機構改革に着手し、平成十三年四月、短大部は学生募集を停止し、札幌キャンパスに新たに経営学部が開設され、美術学部の定員増がなされた次第です。

そして、この平成十四年四月から本学園は、札幌キャンパスの美術学部、経営学部、紋別キャンパスの社会福祉学部の三学部からなる大学を擁する学園として、この時代の荒波にむかって船出することとなりました。

私どもの学園の発展はここにとどまることなく、さらに「限りなき前進」を期して、近い将来、大学院の開設を視野に入れ、その設置構想を検討しているところであります。

紋別・札幌キャンパス
大学社会福祉学部・
美術学部・経営学部

紋別・札幌キャンパス
で本年度も特別授業を
開催

特別授業は全道の高等学校を
対象に、平成14年12月まで行
います。

お問い合わせ・相談窓口
〒094-8582 紋別市落石町
道都大学(紋別キャンパス)
事務局教務部教務課
TEL(01582)4-8101

〒061-1196 北広島市中の沢
道都大学(札幌キャンパス)
事務局教務部教務課
TEL(011)872-3111

本学では、高校生が将来の進路を決定する上で、その動機付けに役立つことが出来ればという主旨のもと、本学教員が高等学校に出向いて特別授業(出張授業)を行うということとを計画し、一昨年度より実施しているが、昨年度は十校から申し込みがあり非常に好評であった。そこで、今年度も昨年同様、実施対象を全道の高等学校とし、実施時期も五月下旬からと昨年より一カ月早めて実施することとした。

実施方法は、昨年同様、まず開講科目として「一般教養」、「建築・工学」、「美術・デザイン」、「経営・金融」、「情報・ネット



社会福祉の専門職としてのあり方を講義する 花澤 佳代 専任講師



高校生に絵画指導する 安田 祐造 教授

この特別授業は十二月まで実施する予定であり、高等学校からのご要望があればそれに応える態勢である。

大学の授業の一端を実際に体験するという機会はそう多くはないと思われるが、この特別授業を有効に活用し、今後の勉学面さらには進路を考えていく上での一助になることを期待している。

紋別キャンパス
大学社会福祉学部

第五回就職講座「チャレンジ2002」
就職出陣式を開催

～厳しい状況でもねばり強く活動することを誓う～

平成十四年四月二十三日(火)午後四時十分より紋別キャンパス階段教室において、第五回就職講座(チャレンジ2002)・就職出陣式が開催された。

厳しい就職状況が続いているが紋別キャンパスについては道内最老舗の社会福祉学部という特色や、幅広い卒業生の層というバックボーンに支えられ、福祉・医療関係は例年通り、数多くの求人が送られてきている。

ねばり強く就職活動するという内容の宣誓が、学生代表の竹内優希子さんより行われた。また、就職課による説明のあと、学生代表の岡田博之君・石金博美さんの号令で、全員による『就職活動がんばるぞ!』の喊声を上げて式を締めめた。

今回の就職講座は在学生の八割以上が参加し、四年生一同決意を新たにしようであった。(事務局学生部就職課 記)

今回の就職講座は、就職に関する事務(内定報告や推薦書の受け方等)についての説明が主であるが、新たに就任した尾西則昭就職課長より、気持ちを引き締める意味で、就職出陣式が提案されたこととなった。

冒頭に、事務局長の小川昭一郎教授(学生指導委員長)より、長年の就職指導に基づく訓辞があり、次に本学の建学の精神「百折不撓」を礎に、



ねばり強く就職活動することを宣誓する 学生代表 竹内 優希子 さん(右)

両キャンパスで就職対策講座を開催

就職活動支援の一環として平成十四年四月二十日(土)道都大学研究センターにおいて「就職難をふっ飛ばせ」と題して就職セミナーを開催した。

本就職セミナーの目的は、就職意識を高め自ら行動を起こせる学生の育成であり、より効果的なものとするため本学学生に拘ることなく、他大学の学生の協力を得て実現した。

今回の参加大学は、本学をはじめとして北海道大学小樽商科大学・北海学園大学・酪農学園大学・札幌国際大学など約六十名の学生が参加した。

第一部は、「二十一世紀に求められる人材とは?」と題して本学経営学部の篠崎雅春助教が社会に出る前の心得八則を学生に伝授、第二部は、札幌Biz



心得八則を伝授する 篠崎 雅春 助教授

第三部は、各企業が活躍している二・三十代のパネリスト六名を迎え「徹底討論!就職って何?」就職するってどういうこと?何を仕事に生きていく?をテーマにパネルディスカッションが繰り広げられた。学生にとって辛口の部分もあった



学生からの質問も続々と

最後の交流会では、本学学生も自作の名刺を交換するなど他大学の学生や社会人との交流を深め、個々のネットワーク作りを始めた様子で、予定を一時間程超過した午後八時無事終了した。

今回の就職セミナーは、篠崎助教授のネットワークと他大学の学生の協力により実現したものであり、改めてネットワーク作りの大切さを痛感した。(事務局学生部就職課 記)

札幌キャンパス
大学美術学部・経営学部

就職難をふっ飛ばせ!
他大学の学生の協力も得てネットワーク作りから



サスカトゥーン市高校生交流団一行とウエルカムボードの前にて



懇談会にて (写真左:佐藤 修 美術学部長)



飛鷹 岸男 助教授(左)から金属工芸作品の説明を受ける交流団一行

Cafe事務局で凸版印刷北海道事業部の枘谷稔氏のミニ講座「就職面接!これだけははずれず!」が行われた。いずれも最近情報誌やテレビで顔なじみの講師陣とあって和やかな中にもポイントを押さえた講演となった。

が、質問や悩みにも本音で答える姿勢には社会人としての自信が伺えた。

飛鷹、中島各ゼミの順で研究室を見学。それぞれの先生から作品の説明を受けた。学生作品の質の高さに驚き、さらに飛鷹岸男助教授の金属工芸の実演に興味深そつに見入る姿は微笑ましいものだった。

アトリ棟から一号館に移動して入学式の準備を終えた体育館を見学。カナダでは入学式という行事がないようで、壇上上がり記念撮影をしたり新入学生を演じたり異国の習慣を楽しんでいる様子だった。

二号館では造形デザイン室、図書情報館、ハイテクアトリ室を見学した。特にハイテクアトリ室で卒業制作作品を鑑賞する姿は真剣そのもので、この見学のなかで最も興味を引いているように思われた。その後、七階の第二会議室に移動し、佐藤修美術学部長、岡島徳昭国際交流室長、ならびに本学在学生を交えて意見交換や質疑応答といった交流が行われ、本学への質問やお互いの自然環境を説明するなど、有意義な時を過ごした。

本プログラムがサスカトゥーン市の学生ならびに北広島市の学生にとって貴重な文化交流の機会として、今後、両市の姉妹都市関係がなお一層深まることを期待する。(国際交流室 記)

札幌キャンパス
大学美術学部・経営学部

北広島市の姉妹都市カナダ サスカトゥーン市から
高校生交流団が本学を臨

～本学学生も交えて懇談。有意義な時を過ごす～

北広島市の姉妹都市であるサスカトゥーン市から高校生交流団一行十九名が北広島国際交流協議会会長池端隆氏と北広島市教育委員会の三名に引率されて平成十四年四月十日来学した。この交流団はサスカトゥーン市内の四つの高校から参加した高校生十七名と引率教員二名から成り、今年で十年目を迎える北広島国際交流協議会交流活動の一環として訪れたものである。サスカトゥーン市との間で行われている交流は、隔年で相互に学生を派遣し友好を深めている。交流団は北広島市内にホームステイし、北広島西高等学校、札幌日本大学高等学校等を見学、さらに今年度は交流団の希望により本学を訪問する事となった。

午前九時過ぎ、交流団一行は本学に到着。学内見学はアトリ棟からスタートし、イケダ、

平成十四年度入学式を両キャンパスで挙

世界の平和と文化に貢献できる人材に

紋別キャンパス
大学社会福祉学部

道都大学
社会福祉学部
第25回入学式



告辞を述べる 櫻井 政経 道都大学長

道都大学社会福祉学部第二十五回入学式が、平成十四年四月十四日(日)紋別キャンパス体育館において、赤井邦男紋別市長等のご来賓と父母が見守る中、厳粛に挙行された。

式は、午前十時三十分、西谷大副学長の開式の辞で始まり、校歌斉唱のあと櫻井政経学長が本学の建学の精神の五箇条を伝えた。中でも一、百折不撓と奉仕の精神を有する人に、について「百折不撓とは数多い如何なる障害に出会おうとも、たゆまず元の姿に立ち戻り、更にたゆみなく前進すること、つまりEVER ONWARD 限りなき前進を意味します」と説明することともに「己の欲せざることは、人にほどこすことなかれ」という孔子の言葉を引用して、「お互いの個性を尊重しながら、一生の友人を作って欲しい」と告辞。

引き続き赤井紋別市長が「社会福祉のエキスパートを多数送り出している道都大学の役割は今後もますます重要であり、皆さんは日本の将来を担う人材であります」と祝辞を述べられ、新入学生を激励した。

最後に新入学生を代表して箕浦唯行君(東京都立大崎高等学校出身)と三橋愛子さん(神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校出身)の両名が「道都大学の理念である百折不撓の精神を確かめながら、輝かしい理想と希望を胸にこの入学式に臨んでおります。道都大学の学則を尊重し、大学生活を通して良き師良き友の人間関係を構築すると共に豊かな国際性と先見性をもって、二十一世紀の社会福祉に確かなビジョンを提言できる専門職を目指して努力することを誓います」と力強く宣誓し式は終了した。

建学の精神

- 一、百折不撓と奉仕の精神を有する人に
- 二、相手を尊敬し礼儀を重んじ誠意ある人に
- 三、専門的職業人にして且哲学的産業人に
- 四、ロマンに溢れた近代的社会を創造する人に
- 五、世界人類に貢献する国際人に

雲一つ無い晴天に恵まれたキャンパス内では、式典終了後、父母と新入学生が思い思いに記念撮影をしたり、学生食堂や内売店でくつろぐ光景が見られ、和やかな学生生活がスタートすることとなった。



入学の宣誓を行う美術学部 安井 晶子 さん(左)と経営学部 中村 拓朗 君(右)

札幌キャンパス
大学美術学部・経営学部

第25回
道都大学札幌
キャンパス入学式

第二十五回道都大学札幌キャンパス入学式が四月十一日(木)札幌キャンパス体育館で多くの来賓や父母に見守られる中、厳粛に挙行され、美術学部と経営学部の新入学生が大きな希望を胸に抱き、新たな学生生活の第一歩を踏み出した。

式は午前十時三十分から始まり、全員による校歌斉唱のあと、学長告辞として、櫻井政経道都大学長より「本学の五力条からなる建学の精神のひとつである百折不撓とは、数多い、いかなる障害に出会おうとも、たゆまず元の姿に立ち戻り、更にたゆみなく前進すること、つまりEVER ONWARD、限りなき前進を意味しており、この学園でまなぶものにとつての道標であり、百折不撓を心の支えとすることを希望します」と本学の教育理念を述べられ、さらに中国の孔子の言葉を集めた論語やイエス・キリストの新約聖書のマタイ伝の一節を例に挙げ、人に対しての思いやりの心を持つ大切さを説明し、人間尊重の精神に徹し、道義と高い気品を身につけ、調和のとれた人間に成長し、諸君が世界の平和と文化に貢献できる人材として活躍される日を心から期待をし、有意義な学園生活を送っていただきたい」と奮闘を祈念された。

又、国内外から届いているたくさんの祝辞・祝電を披露したあと、これらを受けて、新入学生を代表して、美術学部建築学科住環境デザインコース安井晶子さん(北海道札幌稲雲高等学校出身)と経営学部経営学科情報マネジメントコース中村拓朗君(北海道大森高等学校出身)が「よい校風のもとに健全な身体と百折不撓の精神を培い、平和な学園生活を築きます」と英語と日本語で入学の宣誓を力強く行い、式は終了した。

紋別キャンパス
大学社会福祉学部

新入学生歓迎
フェスティバル
を開催

学生・教職員と共に
楽しい一日を過ごす

入学式後間もない平成十四年四月二十六日、体育館を会場に「新入学生歓迎フェスティバル」が開催された。これは、毎年新しい仲間を温かく迎えるための紋別キャンパスあがての行事である。

午前九時半、新入学生や担任の教養部教員のほか、社会福祉学部教員、事務局職員らが集い、記念の写真撮影、そして瀬尾晴美さん(四年生)の司会で開幕。

西谷大副学長の温かい「歓迎のことば」と学友会を代表して前田敏晴君の親しみ深い挨拶の後、アトラクションとして「古典芸能研究会」による琴の演奏などが催された。吹奏楽部の「明日があるさ」の演奏は、手拍子を交えて会場を和やかな雰囲気包み、次のレクリエーション大会へ。その午前の部として新入学生ゼミ対抗の綱引き大会が、午後にはこの日のメインイベント、ミニバレーボール大会が行われた。



ミニバレーボールで盛り上がりも最高に



古典芸能研究会によるアトラクション(琴の演奏)

ミニバレーボール大会は、新入学生の十六ゼミ・チームのほか、教養部と社会福祉学部の各教員チーム、事務局職員A・Bチーム、計二十チームが四つのコートに別れて予選リーグと決勝トーナメントを争い、最高の盛り上がりを見せた。

レクリエーション大会総合三位までのチームに副学長より賞

状と記念品が贈られ、最後に校歌の大合唱。新入学生、教員、職員、共に楽しく過ごした一日だった。

(教養教室 学科長 三谷 雅肆 記)

札幌キャンパス
大学美術学部

建築学科
新入学生歓迎企画
「北海道開拓の村
見学会」を開催

北海道の歴史と味覚に触れた楽しい一日

今年の建築学科入学生の数近くは、道外出身者。また、道内出身者の過半は、札幌圏を離れたところからの入学である。道都大学に入学しての楽しみは友人が全国に広がることだが、入学間もない四月は期待が膨ら



旧青山家漁家住宅にて解説を聞く

今回の企画は、北海道で建築を学ぶスタートとして大いに意義深く、今後恒例行事として定着させたいと考えている。そして、建築見学授業を各学年においても企画実施し、教育効果を高めていきたい。

(建築教室 学科長 伊藤 寛 記)

一方、不安や戸惑いが交錯する時期でもある。そうした不安を払拭し、同級生はもとより、教員とも気軽に語り合う関係を早期に築き上げようと、新入学生歓迎企画「北海道開拓の村見学会」を開催した。

平成十四年四月二十日(土)は快晴に恵まれ、絶好の見学会日和。北海道開拓の村は、明治・大正期の北海道の建造物を各地から移築し、約六十棟が保存・展示されているところだ。

午前十一時、大学バス二台に分乗して出発。到着後六班に分かれて見学を開始した。一班に二・三名の教員が付き、それぞれの専門分野から解説を行った。当初は緊張していた新入学生も見学が進むにつれて次第に慣れてきて、質問も飛び出すようになった。また、友人と肩を並べて記念写真を撮る者もあ

ジンギスカン鍋を囲んで懇談

紋別キャンパス 大学社会福祉学部

学内電話が
ダイヤルインに
～スピーディーで
きめ細かな対応
を図る～

紋別キャンパスの電話交換業務が平成十四年三月十一日より代表電話の番号案内及びダイヤルイン方式に移行されました。今後は、代表電話による自動

番号案内を実施するほか、ダイヤルイン化により交換手を通さないうで各教員研究室や事務局各部課等と直接通話が可能となります。

代表電話及び主なダイヤルイン番号は左の表の通りとなります。

市外局番はすべて(01582)		電話番号
組編・部署		4-8101
道都大学紋別キャンパス(代表・番号案内)	研究室担当	4-9638
社会福祉学部	研究室担当	4-9699
教養(教員養成)部	教務課	4-9534
事務局教務部	教務課入試担当	4-9537
	庶務・施設課	4-9526
事務局庶務部	学生課	4-9541
事務局学生部	就職課	4-9546
	体育施設管理課	4-9568
事務局体育施設管理室	図書情報課	4-9550
附属図書情報館		4-6311
事務局 FAX		4-9573
事務局体育施設管理課 FAX		4-9556
図書情報館 FAX		

紋別キャンパス 大学社会福祉学部

社会福祉士国家資格試験に合格して

～目標を持って地道な努力を～

平成十四年三月卒業 鷲野 健太郎
(帯広北高等学校出身)



鷲野 健太郎 君

私が資格という重みが一番感じた時は、就職活動で履歴書を書く時でした。以前に施設見学で出会った福祉現場の方から「資格は？」と質問されるたびに、「国家資格を持っていない」ということに不安を感じていました。

そこで私は、まず最初に道都大学に在学しながら、通信教育(NHK学園)で介護福祉士を受験するために必要とされる科目を履修し、大学三年終了時になんとか合格しました。この合格が自分に自信を沸き立たせるきっかけとなり、社会福祉士へのチャレンジ心も沸き立ちました。福祉が目玉されてきている今、社会福祉士の資格というものは必要に迫られており、また、これから就職活動をする人にとっても、取得していると社会に出てからの選択の幅が大きく広がってきます。さらに、介護

福祉士を取得していると、さらに広がっていくのです。

特に近年は、はじめは介護職員(介護福祉士)で採用し、いずれは生活相談員(社会福祉士)として働くという考え方の施設が多くなってきたり、多様化する社会に対し、自分たちが合わせていかなくては取り残されてしまう時代になってきたことを、ひしひしと実感させられました。

しかし、両方の国家試験に合格することは、大変な努力が必要です。地道な努力を重ねなくてはなりません。私の率直な感想は、「真剣にやっただ人は必ず合格できる」ということです。安易に考えてはいけません。勉強しようと思えばすることはたくさんあると思います。とにかく目標をもって勉強しなくては、合格しないし、簡単に取得できるものであれば、持っていて意味がないということをこれからこの資格を目指す後輩の皆さんには感じてもらいたいです。

紋別キャンパス 大学社会福祉学部

社会福祉士国家資格試験に合格して

～大学で学んだ四年間で現場で生かす～

平成十三年三月卒業 國府田 まゆみ
(茨城県立下館第二高等学校出身)



國府田 まゆみ さん

このたび私は、社会福祉士と精神保健福祉士の国家資格を同時に合格しました。大学在学時からぜひ取得したいと思っていたので、今は喜びの気持ちでいっぱいです。

大学を卒業するときに受験した昨年は、合格できず悔しい思いをしました。「今度こそは！」と奮起し、大学で社会福祉を真剣に学んだ四年間で現場で生かしていきたい」という思いを大切に温め続け、挑みました。今回、結果を出すことができましたのは、大学で自己の人生を考える上で、手本となる先生に出会い、先輩とソーシャルワーカーを目指して切磋琢磨し、サークル活動では先輩や後輩に恵まれるなど、皆さんに支えていただいたおかげと感謝しております。資格取得をきっかけとし、様々なことを自ら学ぼうとする好奇心がさらに湧きまし

た。ひと回り成長したと感ずることができ、自信につながりました。これからも向上心を持ち続け、前進したいと思っています。今年度より、かねてから念願であった精神科ソーシャルワーカーとして茨城県の栗田病院に勤務しています。当院で働いてみようと思った理由は、退院後の生活支援に重点をおいていること、ソーシャルワーカーが八名いること、そして何よりも、道都大学の先輩がいることに心強さを感じたからです。

現在は職場の環境に慣れることと、仕事を覚えることで一杯ですが、大学で教えを受けた多くのことが日々思い出され、そのたびに、「あの先生がおっしゃっていたことはこのことだったのか」と身をもって感じています。

これからの心掛けとして、自分が利用者の立場だったらどう思うのか、をいつも大切にできる職員でありたいと思います。道都大学で学んだことは私にとって「誇り」であり、一生涯の財産として生き続けることでしょう。

札幌キャンパス
大学経営学部

**2年生に
専門演習を紹介**

～来年度からの専門演習を
選択するための情報に～

経営学部では平成十三年度に第一期生を迎え入れました。経営学部のカリキュラムは入学した一年次には、教養科目を主として学び、専門科目は基礎的科目である経営学論、経営管理総論、経営組織論、経済学概論の四科目を学びます。ゼミナール形式での教養演習では、大

学教育の基本である「ものごとを理論し、自ら考え、それを発表・討論し、レポートを作成する」ということを、少人数教育の良さを活かして懇切丁寧に指導しています。この教養演習担当の教員は学習に限らず、大学生生活の諸々の相談相手として活動しています。

二次次では、専門科目の講義が増えてきますが、一年次に引き続いて教養演習が開設され、ここでは、教養演習をさらに深めた教育指導を行うとともに、教育・生活上の相談を受け、指導しています。

平成十五年 道都大学入学試験実施要領(年内実施分)

設置学部・学科・コースと定員	<紋別キャンパス> 社会福祉学部 社会福祉学科 社会福祉コース 保育コース 介護福祉コース 福祉行政コース	150名	<札幌キャンパス> 美術学部 デザイン学科 コンピュータグラフィックスコース クリエイティブデザインコース 絵画コース 建築学科 美術建築デザインコース 住環境デザインコース 建築システム工学コース	110名 90名
			経営学部 経営学科 情報マネジメントコース クリエイティブマネジメントコース 国際マネジメントコース	150名

Aの選考	内定通知日	(第一次)平成十四年10月4日(金) (第二次)平成十四年11月29日(金)
	出願期間	(第一次)平成十四年10月21日(月)～平成十四年10月31日(木) (第二次)平成十四年12月2日(月)～平成十四年12月12日(木)
推薦選考	出願資格	本学を専願するもので、出願前に最低2回の面談を受け「内定」を受けた者。出願時には、与えられたテーマでの作文(社会福祉学科・建築学科・経営学科)鉛筆デッサンまたは作文(デザイン学科)を合わせて提出。
	試験日(公募制・指定校制共通)	(前期)平成十四年11月1日(金)～平成十四年11月14日(木) (後期)平成十四年12月2日(月)～平成十四年12月16日(月)
推薦選考	試験会場(公募制・指定校制共通)	(前期)札幌・紋別・旭川・函館・帯広・北見・青森・仙台・東京・静岡・名古屋 (後期)札幌・紋別・旭川・函館・帯広・青森・仙台・東京
	出願資格	本学を専願する者で高校評定平均値「3.5」以上の平成十五年3月高校卒業見込みの者及び平成十四年3月高校卒業の者。
選考要領	試験科目	①書類選考(高等学校調査書、高等学校推薦書) ②面接(個人面接) ③小論文(社会福祉学科・建築学科・経営学科) 実技試験(デザイン学科(鉛筆デッサン、但し実技試験に代えて小論文選択可))
	試験科目	①書類選考(高等学校調査書、高等学校推薦書) ②面接(個人面接)

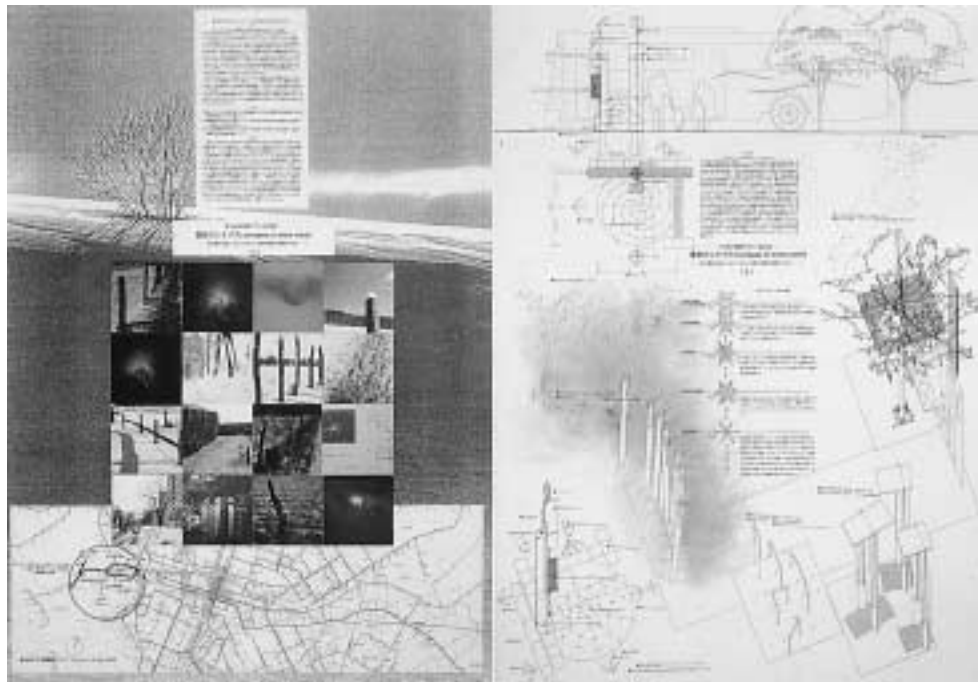
資料請求・入試に関する問い合わせ先

道都大学札幌キャンパス入試室

ハナマルに Let's go
☎ 0120-870205
TEL 011-372-3111(代)

ホームページ <http://www.dohto.ac.jp>
E-mail: nyushi@dohto.ac.jp
iモード用ホームページ(EZwebも可)
<http://www.dohto.ac.jp/nyushi/i/dohto.html>

受賞作品『雪色のシナプス』



コンセプトイメージパネル

バス・ストップデザインパネル

「札幌の新しいライフスタイルをデザインする」をテーマにした第六回札幌国際デザイン賞コンペ(札幌市・実行委員会主催)において、本学美術学部建築学科の第三期卒業生である木下泰男氏の作品『雪色のシナプス』が大賞を受賞しました。

本コンペはまちづくりに生かせるデザインを発掘しようと札幌市が平成三年に創設し隔年毎にテーマを設け開催しております。

木下氏は釧路管内阿寒町の出身で、本学卒業後も建築設計の研究を続け、多数のコンペに入選又は入賞をしました。中でも平成八年には、日本建築学会全国設計競技で一等を受賞するなど、全国レベルのコンペでも高く評価されております。

木下氏の作品は北海道の特徴的な風景である牧場のさくを模したオブジェ。積雪が測れたり、降雪で照明が変化するなど、雪を楽しむながら待ち時間を過ごすバス停留所を提唱し、審査員から高い評価を受けました。

木下氏から受賞の喜びや創作活動が続けるうえでの後輩へのメッセージなどを頂きました。ここに紹介します。



木下 泰男 氏

第六回 札幌国際デザイン賞 大賞を受賞して

道都大で培った基礎が今でも根底に

第三期卒業生 木下 泰男

隔年開催される札幌国際デザイン賞コンペは札幌市を主管とするデザイン公募の国際コンペです。開催年毎にテーマが異なり、今回は「札幌の新しいライフスタイルをデザインする」でした。受賞した作品は地域に根ざした地元意識の蓄積によった活動を基礎とした作品で、都市の要素の在り方の分野としての作品と自己確認の為に応募した二つの意味が評価されたことを嬉しく思っています。

作品は、ライフスタイルの意識を垣間見る都市生活の身近な空間がバス停と捉え、旅をする地元の人に行き先を聞くだけなのにその応対ひとつに、異なる習慣などその人のライフスタイルを垣間見た思いを持つことがあります。北海道の風景の連続する牧場の柵杭やアイヌ民族の暮標の初原的意匠が施された姿などをアイデンティティーに据え、柵杭の連続性や神経細胞網のシナプスのような接点と路線網とバス停を重ね合せ、現代の杭として交点を示す十字断面形とし、綿帽子照明には降雪により変化する照明サイン、雪解けには玉石が顔を覗かせるなど雪と向き合う姿勢を託し、待つ時間を考えた空間としても提案した。私の体験から後輩の皆さんに言えることがあるとするならば、自身のスタンスを何事に於いても見失わない事ではないでしょうか。若く醸成される途上であっても、意外と考える一つのベクトルからは遠く、それではないののではないかと思えます。私は、道都大で培った基礎が根底に強くある思いをしています。

建築学科

第三期卒業生 木下 泰男氏が、第六回 札幌国際デザイン賞 大賞を受賞

『雪色のシナプス』
雪の都市生活とライフスタイルの接点空間のために

札幌キャンパス
大学美術学部

展覧会入選・コンペ入賞報告が届く

～卒業後の活躍もめざましく～

デザイン学科

科目等履修生 橋内美貴子さん、宮口拓也君が第七十六回国展(版画部門)に初出品で初入選

東川恵美さんも第一十九回美工展に入選

ゼミ内の春の展覧会入選者について報告します。ゼミナルでは版画とテキスタイルデザインを主に指導していますが今回は両部門で入選者がありました。

まず版画では橋内美貴子さん、宮口拓也君の両名が第七十六回国展に入選しました。橋内さんはオートマチックな技法で幻想的な抽象画面を描くことを得意としています。根室出身で道展には既に三回入選しています。宮口君はデジタルな手法で実在の風景を加工して版画としています。雨竜出身でやはり道展に二回入選しています。両名とも国展は初出品・初入選です。



橋内 美貴子 さんの作品
『午月』

テキスタイルでは東川恵美さんが第二十九回美工展に入選しています。東川さんはストライプを卒制のテーマに選んだ経緯もあってライン表現を得意分野としています。札幌出身で美工展は昨年に続いての二回目の入選です。

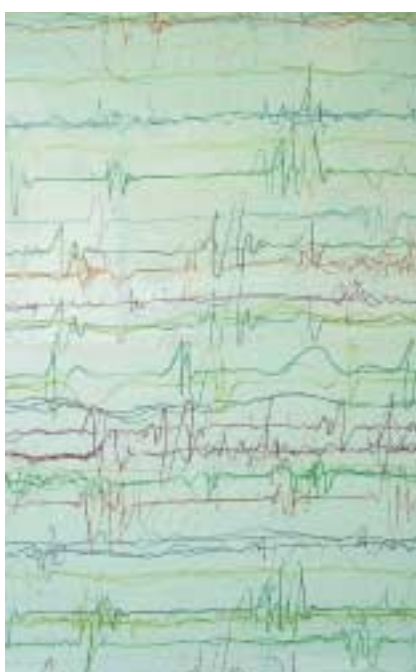
今回の三名はいずれも学部を卒業しての科目等履修生で学部時代から入選歴を持ち制作を続けるために教室に残っている作家の卵たちです。

ゼミナルではフライングアーティスト志向の学生、工芸志向の学生、デザイン志向の学生たちがそれぞれ同じ教室内で活動しています。フライングアーティスト志向の学生

はここ数年、道展に十名前後が連続入選しているように身近なところを含めて発表の機会が比較的多くあります。テキスタイルデザインに関しては国内に発表の場が少なくテキスタイルの東川さんが工芸の展覧会に道をつけてくれたことは後続の学生にとっても大きな成果です。ま

た国展は日本を代表する団体展のひとつで本学の学生としては初入選であり本人にとってはもちろん、本ゼミ、本学にとっても大きな喜びであります。秋の展覧会シーズンがまた楽しみになりました。

(デザイン教室
助教授 中島 義博 記)



東川 恵美 さんの作品
『LIFE』



宮口 拓也 君の作品
『4時頃』

学校法人 北海道櫻井産業学園 理事・監事名簿

(自 平成11年4月1日 至 平成15年3月31日)任期4カ年 (平成14年4月1日現在)

Table with columns: 選任条項, 氏名, 役職名, 選任条項, 氏名, 役職名. Lists board members and their roles.

学校法人 北海道櫻井産業学園 評議員名簿

(自 平成14年4月1日 至 平成16年3月31日)任期2カ年 (平成14年4月1日現在)

Table with columns: 選任条項, 氏名, 役職名, 選任条項, 氏名, 役職名. Lists evaluators and their roles.

北海道地区

入試説明会(7会場)

Table with columns: 開催日, 開催地, 会場. Lists exam explanation events in Hokkaido.

進学相談会(29会場)

Table with columns: 開催日, 開催地, 会場. Lists career counseling events in Hokkaido.

本州地区

入試説明会(17会場)

Table with columns: 開催日, 開催地, 会場. Lists exam explanation events in Honshu.

進学相談会(17会場)

Table with columns: 開催日, 開催地, 会場. Lists career counseling events in Honshu.

平成十五年度道都大学入試説明会及び進学相談会(業者主催)日程が決定

平成十四年度予算の概要

平成十四年度予算は、平成十四年三月二十二日開催された理事会において決定された。本年度は、教育研究経費、管理経費等の減額を実施したため、繰越金を含む資金収支予算総額としては、前年度より約二億五千万円縮小した予算規模となっている。

Table with columns: 消費収支予算書 (単位 千円). Shows consumption budget details.

Table with columns: 資金収支予算書 (単位 千円). Shows funding budget details.

(法人本部 財務局 記)

「体内時計」

「時差ボケはなぜおこる」

海外旅行で時差の大きい国を行ったり来たりした時、起床就寝のリズムが乱れたり、胃腸の調子がおかしくなったり、頭痛がしたり、いわゆる時差ボケがおこる。

時差ボケが生じるのは体内時計の調整がスムーズに現地の時刻に合わず、しばらく日本時間を守り続けるためにおきる。徐々に現地時間に合ってくるの

はまなす門

平成十三年十二月、総合規制改革会議による「規制改革の推進に関する第一次答申」の中で、大学教育の活性化を図るためには、教育機関や教員が互いに質の高い教育サービスの提供に向けて競い合うとともに、大学が自らの判断と責任により運営を行う自主性自律性を向上させることが必要である。学部や学科の編成は、大学の主体的な判断により機動的になされること望ましい。しかしながら、現在、大学、学部を設置基準としては、大学設置基準のほか、

だが、身体各機能がいつせいに、足並みそろえて合っただけはなく、血圧は割合早く、三十分以内に、脈拍は数時間、体温や胃腸の動きは一週間くらいかかる。リズムの同調に差がある。これが時差ボケの原因。

体内のリズムは遅らせるほうが早めるよりも調整が簡単なようで、このため、西回りの旅行のほうが時差ボケを解消しやすいともいわれている。

このように体内時計は時間的情報を発信し、それに従って生体リズムが生まれている。このリズムは、ホルモンの分

泌、細胞の活動、血圧、体温、食欲、排泄などさまざまな活動に一定の周期をもたせ、かつ変動している。

起きている時間帯は活動にふさわしい状態に、寝ている時間帯はその逆の状態に身体が保たれるように適応している。

たとえば体温は、午前三時頃に最低になり、血圧も脈拍数も、興奮物質のアドレナリンの分泌も最低になり活動力が最低になる、そして尿意が睡眠を妨げないよう抗利尿ホルモンの分泌が増加し、成長ホルモンの分泌も増え、細胞分裂はピークとなり、

様々な形式によって重層的に規定が設けられており、大学の自主的・自律的な判断による機動的な組織編成を阻害している面がある。また、大学はその責務を果たすために自ら不断の努力を行わなければならないが、厳しい事前審査を行う一方で、事後的な監視点検が機能していないのではないかと懸念がある。そこで大学が自らの判断と責任において、質の高い教育研究活動を行うことができる競争的な環境に向けて、大学の設置等に関する規制を一層緩和する一方で、設置認可を受けたすべての大学に継続的な第三者による評価認証（アクレ

ディテーション）を受けて、その結果を公表すること等を義務づけるなどの評価認証制度を導入すべきである。教員評価についても、その評価項目の一つとして取り入れることも考えられるとしており、今日、各大学が行っている自己点検・評価より、さらに踏み込んだ施策提言となつてい。本年四月の中央教育審議会の中間報告においても同様の方向で審議を進めることが述べられており、今後、各大学は、適切に対応するため、新たな視点に立つての検討が求められることになろう。（法人本部常務理事・企画局長 藤川 準一 記）

コレステロールを作る機能も夜中に最高になっている。

このサイクルは平均二十五時間あり、私たちはこの体内時計を毎日、地球の自転の二十四時間に合わせて調整しながら生活している。

体内時計を二十四時間周期に合わせて調整することを「同調」という。同調を促す因子（同調因子）には、光、温度など自然環境的なもののほか、朝八時半に登校とか、九時に出社といった、社会的な決まりごと、生活スケジュールもある。

それらのなかで最も大きい因子は、光である。私たちは（ヒト以外のほとんどの生物も）毎日、光を感じることで、体内時計をうまく調節しているのだがこの調整機能がうまく働かなくなつた代表が、冒頭で紹介した時差ボケという状態なのである。登校拒否や出社拒否の原因の一つに、夜がいつ迄も明るい、いや明る過ぎるということもあるのでは・・・、皆様はどう思われますでしょうか。

参考資料

- 『暮しと健康』（一九九九年五月号）
- （大学）紋別キャンパス（福祉学教室）
- 専任講師 中西 淑恵（記）

人事異動

- 昇任 平成14年5月1日付
- 秘書室 青山 奈都子 秘書係長（札幌キャンパス）
- 秘書課員第一秘書（札幌キャンパス）
- 異動 平成14年5月1日付
- 秘書室 幌村 知美 秘書課員（札幌キャンパス）
- 新機構設立事務課員兼教務課員
- 大学（札幌キャンパス）
- 岡本 麻紀 教務課員
- 秘書課員（札幌キャンパス）

慶弔録

- 結婚 おめでとございます
- 大学（紋別キャンパス）
- 空 佳裕（学生部就職課長補佐）
- 平成14・4・4
- 大学経営学部札幌キャンパス）
- 大野 和巳（経営教室 専任講師）
- 平成14・4・7
- 死去 ご冥福をお祈りします
- 大学美術学部札幌キャンパス）
- 佐藤 江美子殿 佐藤 勝泰（建築教室教授 建築副学部長）御令室
- 平成14・4・14